取扱説明書

マルチメディアCDコンポ

CX-128C

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。
以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。
※本説明書のイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件により、実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。
※本書は仕様変更のため、予告なく変更する場合がありますのでご注意ください。

マーク	意味
アドバイス	● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ● 本機を使う上で知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
☞	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
⏮◀ TUNE TRACK ▶⏭	本体のパネル部のボタンを表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
■／□	操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。

使用上の注意事項等

● **本機の操作**
・運転中の操作は避け、停車して行なってください。
・運転中に画面を注視しないでください。

目　次

A
はじめに

A-2 安全上のご注意

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。
- この取扱説明書および本機の表示では、ご本人や周囲の人々が危害や損害を負うことなく、本機を安全に正しく使用していただくために、いろいろな注意事項を表示しています。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、「⚠警告」、「⚠注意」の２つに区分しています。

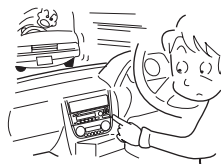
⚠ 警告：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容であることを示しています。
⚠ 注意：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容であることを示しています。

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

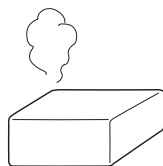
⚠	：△記号は**気をつけなければならないこと**であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描いてあります。
🛇	：⃠記号は**してはいけないこと**であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描いてあるものもあります。
❗	：●記号は**しなければならないこと**であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な指示）が描いてあります。

⚠警告

本機は 12V 車専用です。24V の車(トラック、バスなど)では使用しないでください。
火災などの原因となります。

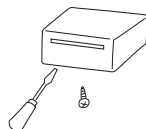
運転者は走行中にディスクの交換や音量調節等の操作をしないでください。
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させて行なってください。

本機を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。

表示が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。

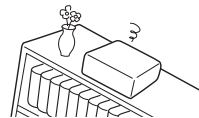
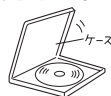
万一、異物が入った・水や飲みものがかかった・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談してください。
そのままご使用になると事故・火災・感電、故障の原因となります。

⚠注意

本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

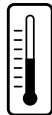
ディスク挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電、故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

本機の電源が入っているとき、または、電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れないでください。
高温のため、やけどの原因となることがあります。

本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。

ご使用にならないときは、ディスクを取り出しておいてください。
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスクを傷める原因となることがあります。

小児が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうか確認してください。
事故の原因となることがあります。

お願い

温度について

極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に作動しないことがあります。車内が適温になると正常に作動します。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いとき、ヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。
このままですとレーザーによる読み取りができず本機が正常に作動しないことがあります。このようなときには周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約１時間ほどで結露が取り除かれ正常に作動するようになります。

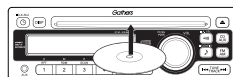
表示部について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

CDの音飛びについて

極端に路面の悪い道路を走行した場合、音飛びが生じることがあります。このようなときは、路面の状態の良い道路にもどってからご使用ください。

8cm CDについて

本機では、8cm CDアダプターは必要ありません。
8cm CDも、12cm CDと同様に、そのまま挿入してください。
8cm CDアダプターを使用すると、故障の原因となります。

ディスクの保管について

ご使用にならないときは必ずディスクを抜き取っておいてください。
直射日光などの影響によって反りの原因となります。ディスクは必ずケースに入れ直射日光の当らない場所に保管してください。

お願い

お手入れについて

<表示部の清掃>

- パネル面の汚れはプラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- パネル面は指紋やホコリがつきやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)濡れたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

<本機の清掃>

- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、表面が侵されることがありますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、パネル面を汚したり傷めたりしますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。

その他について

- ディスク挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因になることがあります。
- 当商品を分解したり改造しないでください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になる恐れがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

- ラジオの受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 表示用ディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 長時間エンジン停止状態で使用しないでください。バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなる恐れがあります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
- 操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、お客様が登録したメモリー内容が消えて、初期状態になります。その場合には、もう一度設定し直してください。初期値に戻るのは時計設定、FM／AMのプリセットおよび音質／音量バランスなどオーディオ設定の一部です。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

主な特長

AV機能

CD

- **CD再生**
  ディスクを挿入すると、音楽が自動再生されます。
  ☞「音楽を再生する」C–2
- **8cm CD対応**
  8cm CDをアダプターなしで自動再生することができます。
- **リピート／ランダム／スキャン機能**
  繰り返し曲を聞く／順序不同で曲を聞く／曲の頭（イントロ）を約10秒間再生することができます。

ラジオ

- **道路交通情報ボタン**
  ワンタッチで、1620kHzまたは1629kHzに合わせることができます。
  （ラジオモード以外でも可能）☞「交通情報を受信する」D–7
- **自動選局**
  放送局を自動的に選局します。
- **プリセット機能**
  FM12局、AM6局をプリセットできます。

AUX

- **AUX機能**
  別売のAUX接続コードを使用して市販の携帯用オーディオ機器の音声を聞くことができます。
  ☞「AUX機能を使う」E–2

その他

- **時計付き**
  表示部に時刻を表示させることができます。
  ☞「時計を調整する」B–12／「時計表示を消す」B–13
- **オーディオ リモコン スイッチ対応**
  車載標準装備または別売のスイッチを接続すれば運転中にハンドルについているオーディオ リモコン スイッチでオーディオの操作をすることができます。
  ☞「オーディオ リモコン スイッチ」F–3

本機で再生できるディスク

MP3　WMA　AAC　CD-R　CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

⚠注意 すでにディスクが挿入されている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

●下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

●CD-G　●フォトCD　●CD-ROM　●CD-EXTRA
●VIDEO CD　●SACD　●SVCD　●dts-CD

●CD-R／CD-RWでも、次のような場合は再生できないことがあります。

●データが記録されていないディスク
●ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
●ディスクと本機の相性が悪い場合
●記録に使用したレコーダの種類
●「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。（ただしMP3／WMA／AACは再生できます。）

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3／WMA／AACにつきましては☞「オーディオファイルについて」A-12をご覧ください。

●8cmディスクについて

本機では、8cmCDアダプターは必要ありません。8cmCDも12cmCDと同様に、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用すると故障の原因となります。

●コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

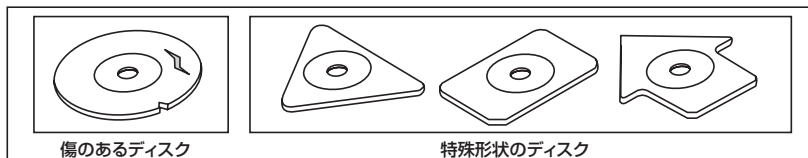
ディスクレーベル面（印刷面）に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。

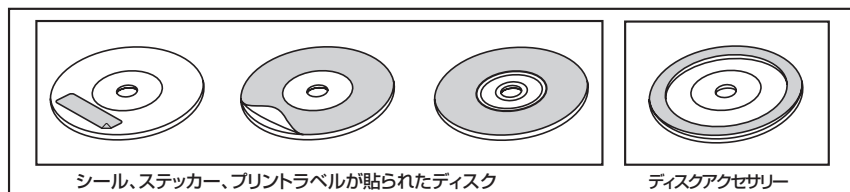
●Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機では、Dual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

●特殊形状のディスクについて

特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。
本機に使用しますと故障の原因になります。

●ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー(ディスクリング、保護シール)はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクが反り、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

ディスクの取り扱いかた

●定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

●ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。

●印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。

●車のエンジンスイッチを0(ロック)時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

●セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクまた、はがれかけのラベル類、付箋などの紙類が貼られたディスクはお使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、はがれた紙類が製品内部に残ってしまい、本機が故障する原因となります。

●ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。

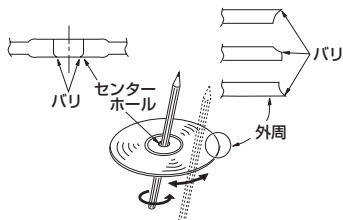
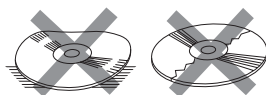
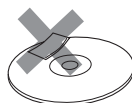
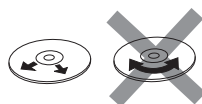
●反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

●レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

●新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。

●取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。

●すでにディスクが挿入されている状態で、２枚目のディスクを挿入しないでください。

A-12 オーディオファイルについて

●MP3とは？
MP3（MPEG Audio Layer 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

●WMAとは？
WMA（Windows Media™ Audio）は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約2倍）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

●AACとは？
Advanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

●MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

●CD-R／CD-RWについて
- CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

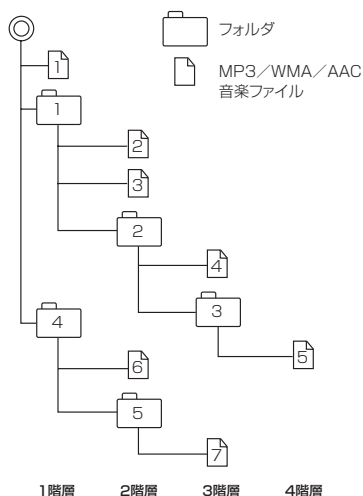
●マルチセッションについて
マルチセッションに対応しており、MP3／WMA／AACファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

●MP3／WMA／AACの規格について

項目	内容
使用可能 メディア	CD-R、CD-RW
再生可能なMP3 ／WMA／AAC ファイルの規格	· MP3･･･MPEG Audio Layer3 · WMA･･･Windows Media Audio Standard · AAC･･･Advanced Audio Coding ※m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。 ※WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。 ※2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。 ※AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
再生可能なMP3／ WMA／AAC ファイルの拡張子	MP3、mp3、WMA、wma、M4A、m4a （大文字、小文字どちらでも使用可能）
使用できる メディア フォーマット	拡張フォーマットを除いたISO09660レベル1およびレベル2 ※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。 ※マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
タイトル表示 可能文字数	20文字
フォルダ名／ ファイル名 使用可能文字	A～Z、0～9、_（アンダースコア）
最大フォルダ階層	8階層
最大ファイル数	999
最大フォルダ数	256
1フォルダ内の 最大ファイル数	999
表示可能な ID3タグ／ WMAタグ	アーティスト名／アルバム名

※上記規格以外で書き込まれたMP3／WMA／AACファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

オーディオファイルについて

階層と再生順序のイメージ

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3／WMAおよびAACファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並び替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 8階層までのMP3、WMAおよびAACファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

●著作権保護がある音楽ファイルについて

本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

※著作権保護とは著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

<table>
<tr><td rowspan="5">MP3</td><td colspan="2">ISO／IEC　11172-3，ISO／IEC　13818-3に準拠</td></tr>
<tr><td>MPEG1　AUDIO</td><td>Layer　1／2／3</td></tr>
<tr><td>MPEG2　AUDIO</td><td>Layer　1／2／3</td></tr>
<tr><td>MPEG2.5　AUDIO</td><td>Layer　3</td></tr>
<tr><td>対応ビットレート</td><td>VBR含む全ビットレートに対応</td></tr>
<tr><td rowspan="3">WMA</td><td colspan="2">WMA　Ver.9 Standard準拠</td></tr>
<tr><td>対応サンプリング周波数</td><td>（8，11.025，16，22.05，32，44.1，48kHz）</td></tr>
<tr><td>対応ビットレート</td><td>5k～384kbps（VBR対応）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">AAC</td><td colspan="2">ISO／IEC　14496-3，13818-7に準拠</td></tr>
<tr><td>対応プロファイル</td><td>MPEG4-AAC-LC（Low　Complexity）</td></tr>
<tr><td>対応サンプリング周波数</td><td>（8，11.025，12，16，22.05，24，32，44.1，48kHz）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応ビットレート</td><td>モノラル：8k～160kbps（VBR対応）</td></tr>
<tr><td>ステレオ：16k～320kbps（VBR対応）</td></tr>
</table>

※WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。

●MP3／WMA／AACの再生について

- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AAC（m4a）ファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。

●MP3／WMA／AACの演奏時間表示について

MP3／WMA／AACファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

●ファイル名について

- 異なった拡張子をつけるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

●MP3／WMA／AACファイルの作り方について

MP3／WMA／AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

- **インターネットの配信サイトより入手する場合**
  インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。
  音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は本機では再生できません。

- **音楽CDをMP3／WMAまたはAACファイルに変換する**
  パソコンと市販のMP3／WMA／AACエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA／AAC形式のファイルに変換することで、12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)
  本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックをつけないでください。

- **CD-R／CD-RWに書き込む場合**
  MP3／WMA／AACファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。
- **表示可能なID3／WMAタグ**
  Artist Name、Album Title
  ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。
- **フォルダ番号、ファイル番号について**
  演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA／AAC以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMA／AACファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3／WMA／AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

B

おぼえておきたい基本操作

各部の名称とはたらき

① ボタン

時計表示有無の選択や時計調整モードにすることができます。☞B-12、B-13

② DISP ボタン

CD(MP3・WMA・AAC)モード時、ボタンを押すごとに表示モードが切り替わります。☞B-11

③ ディスク挿入口

④ PUSH PWR／VOL ボタン・ツマミ

※用途によって、呼び方を変えています。

- ボタンを押すたびに電源をON／OFFします。☞B-5
- 右方向または左方向に回転し、オーディオの音量を調整します。☞B-8
- 各設定モードに入っている場合は、各設定モードの調整をします。☞B-9、B-10、F-2

⑤ ボタン(TI／A.SEL)

- 交通情報を受信します。☞D-7
- ラジオモード時、長押しするとオートセレクト機能がはたらきます。(表示点滅)☞D-5

⑥ ▲ ボタン(イジェクト)

ディスクを取り出すときに使用します。☞B-6

⑦ CD AUX ボタン

CDモードまたはAUXモードに切り替わります。☞B-5、C-2、E-2

⑧ FM AM ボタン

FMモードまたはAMモードに切り替わります。ボタンを押すたびにFM1、FM2、AMと切り替わります。☞B-5、D-2

⑨ ⏮TUNE TRACK⏭ ボタン(選曲／選局)

- 好きな曲、放送局を選びます。☞C-3、D-3
- 長押しすると早送り／早戻し／手動選局／自動選局を行ないます。☞C-3、D-3

⑩ ♪ ボタン(SOUND／CONFIG)

- サウンド設定モードに切り替わります。☞B-9

EQ*1 → BAS → TRE → FAD → BAL → SVC*2 → 解除 → (EQ)

- 長押しすると、CONFIGモードに切り替わります。☞F-2

CONT. → SCRL. → BEEP → (CONT.)

⑪ AUX端子

別売のAUX接続コードを使用して、市販のポータブルオーディオを接続します。☞E-2

⑫ 1 ボタン

- 曲を繰り返し再生します。(リピート再生)
  CD／MP3／WMA／AAC ☞ B-7
- 長押しでフォルダ内を繰り返し再生します。
  MP3／WMA／AAC ☞ B-7
- 時計調整モード時、"時" の調整を行ないます。
  ☞ B-12
- ラジオモード時、長押しすると好きな放送局をプリセットします。☞ D-4
- ラジオモード時、プリセットメモリーした放送局を呼び出します。☞ D-6

⑬ 2 ボタン

- 曲を順序不同で再生します。(ランダム再生)
  CD／MP3／WMA／AAC ☞ B-7
- 長押しでフォルダ内を順序不同で再生します。
  MP3／WMA／AAC ☞ B-7
- 時計調整モード時、"分" の調整を行ないます。
  ☞ B-12
- ラジオモード時、長押しすると好きな放送局をプリセットします。☞ D-4
- ラジオモード時、プリセットメモリーした放送局を呼び出します。☞ D-6

⑭ 3 ボタン

- 曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(スキャン再生)
  CD／MP3／WMA／AAC ☞ B-7
- 長押しで各フォルダ内の一番最初の曲の頭(イントロ)を約10秒再生します。
  MP3／WMA／AAC ☞ B-7
- 時計調整モード時、"時報合わせ" を行ないます。
  ☞ B-12
- ラジオモード時、長押しすると好きな放送局をプリセットします。☞ D-4
- ラジオモード時、プリセットメモリーした放送局を呼び出します。☞ D-6

⑮ 4 ボタン

- 曲のタイトルをスクロールします。
  CD／MP3／WMA／AAC ☞ B-11、F-2
- ラジオモード時、長押しすると好きな放送局をプリセットします。☞ D-4
- ラジオモード時、プリセットメモリーした放送局を呼び出します。☞ D-6

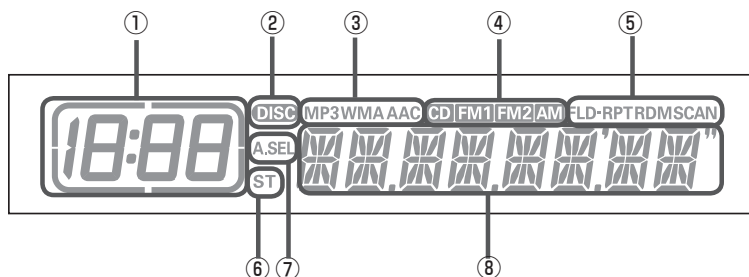
⑯ 5 ボタン

- 前のフォルダに戻ります。
  MP3／WMA／AAC ☞ C-2
- ラジオモード時、長押しすると好きな放送局をプリセットします。☞ D-4
- ラジオモード時、プリセットメモリーした放送局を呼び出します。☞ D-6

⑰ 6 ボタン

- 次のフォルダに進みます。
  MP3／WMA／AAC ☞ C-2
- ラジオモード時、長押しすると好きな放送局をプリセットします。☞ D-4
- ラジオモード時、プリセットメモリーした放送局を呼び出します。☞ D-6

＊1印･･･EQ(イコライザー)の設定は ☞ B-10をご覧ください。
＊2印･･･SVC(車速連動音量)の設定は ☞ B-10をご覧ください。

表示部のみかた

① **時計表示**

② **DISC IN表示**
ディスクが入っているときのみ表示します。

③ **再生ファイル表示**
再生中のファイルを表示します。

④ **各モード表示**

⑤ **再生モード表示**

⑥ **ステレオ放送表示**
ステレオ放送受信時のみ表示されます。

⑦ **オートセレクト表示**
(TI／A.SEL)を長押し時に点滅し、オートセレクト終了後に点灯表示されます。

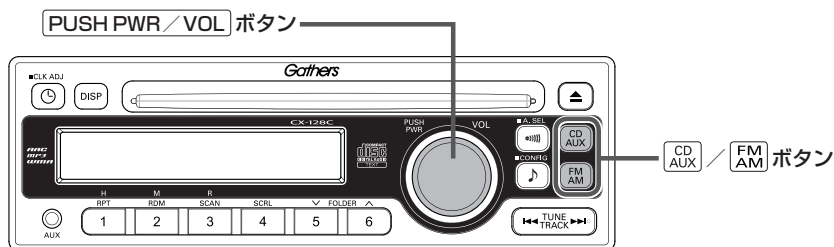
⑧ **タイトル名表示**
ディスク名／トラック名*1
フォルダ名／ファイル名／アーティスト名／アルバム名*2

再生時間表示

トラック(ファイル・フォルダ)番号

周波数・プリセット番号表示

設定モード表示
サウンド設定モード(イコライザー設定、バス設定、トレブル設定、フェダー設定、バランス設定、車速連動音量設定)
コンフィグ設定モード(コントラスト設定、スクロール設定、ビープ設定)

＊1印･･･CDモードの場合
＊2印･･･MP3／WMA／AACモードの場合

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 PUSH PWR／VOL **を押す。**

：POWER OFF前のモードになります。

アドバイス

- 聞きたいモードのボタンを押しても、電源が入ります。

CDモード　：CD／AUXモードボタン(CD AUX)を押します。
(ディスクが挿入されている場合)
「音楽を再生する」C-2

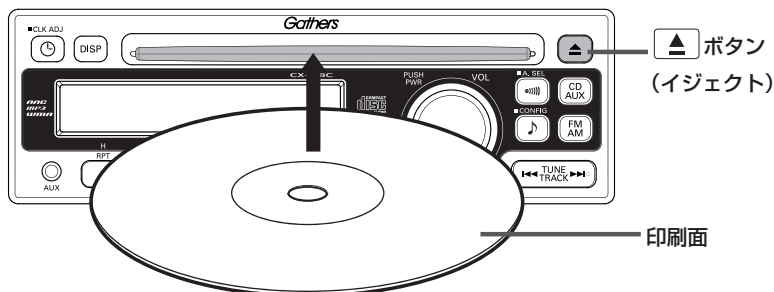
ラジオモード：ラジオモードボタン(FM AM)を押します。
「ラジオを聞く」D-2

AUXモード　：CD／AUXモードボタン(CD AUX)を押します。
「AUX機能を使う」E-2

電源を切る

1 PUSH PWR／VOL **を押す。**

：POWER OFFになります。

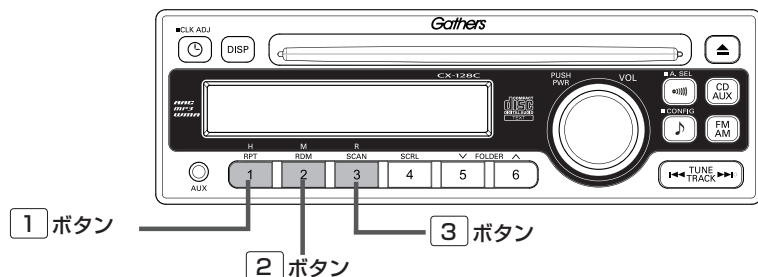
ディスクを入れる／取り出す

ディスクを入れる

1 **ディスク挿入口にディスクを挿入する。**

※印刷面を上にして挿入してください。

ディスクを取り出す

▲(イジェクト)を押し、ディスクを取り出す。

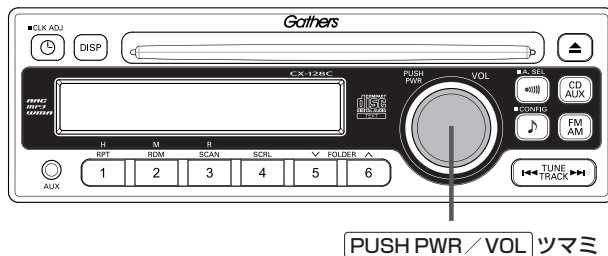
- 長時間ディスクを挿入していると、ディスクが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生が始まります。
- ディスクを取り出して再度再生を始めるときは、ディスクの最初の曲の頭から演奏が開始します。
  ※演奏中に車のエンジンスイッチを0(ロック)にした場合は、次に車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)／Ⅱ(ON)にすると前に再生していた続きから開始します。
  ※▲(イジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入ります。なお、この時は自動的には再生されません。
- ディスクの取り扱いかたにつきましては☞「ディスクの取り扱いかた」A-11をご覧ください。

リピート／ランダム／スキャン再生

1 再生したいモード(リピート／ランダム／スキャン)を選択する。

再生モード	メディア／再生モード表示	CD	MP3 WMA AAC	操　作
リピート(繰り返し)	RPT	○	○	1 を押すと今聞いている曲を繰り返し再生します。
	FLD-RPT	×	○	1 を長押しすると再生中のフォルダ内のファイルを繰り返し再生します。
ランダム(順序不同)	RDM	○	○	2 を押すとディスク内の曲を順序不同再生します。
	FLD-RDM	×	○	2 を長押しすると再生中のフォルダ内の曲を順序不同再生します。
スキャン(イントロ)	SCAN	○	○	3 を押すとディスク内の全ての曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
	FLD-SCAN	×	○	3 を長押しすると各フォルダ内の一番最初の曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。

アドバイス

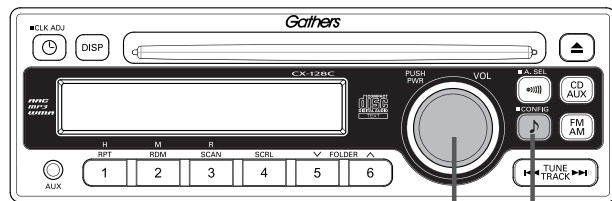
- 解除する場合はそれぞれのボタンを押してください。
- 長押しして“FLD-RPT”、“FLD-RDM”、“FLD-SCAN”操作を行なった場合はそれぞれのボタンを長押しまたは、2回押すと解除されます。

音量を調整する

1 **PUSH PWR／VOL を右方向／左方向へ回す。**

右方向：音量が大きくなります。

左方向：音量が小さくなります。

アドバイス 音量を調整すると表示部に現在の音の大きさ(0～40)を示すVOLUME表示されます。VOLUME表示は約３秒間表示されます。

音質／音量バランスの調整をする

BASS／TREBLE／FADER／BALANCEを調整する

（バス／トレブル／フェダー／バランス）

1 ♪ (SOUND／CONFIG) を押す。

※押すごとに手順 2 の表のようにモードが切り替わります。

2 調整したいモードを PUSH PWR／VOL を右方向／左方向へ回し、設定する。

※各モード(BAS／TRE／FAD／BAL)が表示されている間(約５秒)に行なってください。

※BASとTREはEQモードがOFFになっていないと表示されません。

※音質／音量バランスの調整を解除する場合は、操作後、５秒間放置してください。

モード切替	左方向へ回す	右方向へ回す	表　示
EQ *1			
BAS(BASS) *3	低音が弱まる	低音が強まる	－６～０～＋６
TRE(TREBLE) *3	高音が弱まる	高音が強まる	－６～０～＋６
FAD(FADER)	前スピーカーの音量が下がる	後ろスピーカーの音量が下がる	R9～CTR～F9
BAL(BALANCE)	右スピーカーの音量が下がる	左スピーカーの音量が下がる	L9～CTR～R9
SVC *2			
(解除)			

＊１印…EQ(イコライザー)の設定は、B-10をご覧ください。
＊２印…SVC(車速連動音量)の設定は、B-10をご覧ください。
＊３印…EQモードを設定している場合は、BAS、TREをとばして次のモード(FAD)になります。

音質／音量バランスの調整をする

イコライザー(音質)を設定する

1 B-9手順 **1** にしたがって操作し、EQモードにする。

2 お好みの音質を PUSHPWR／VOL を右方向／左方向へ回し、設定する。

：回すたびに下記のように音質が切り替わります。

EQ OFF↔ROCK↔POPS↔HIP HOP↔JAZZ↔CLASSIC↔FLAT

- EQ OFF時のみ、BASS(バス)／TREBLE(トレブル)の設定をすることができます。
- 音質／音量バランスの調整を解除する場合は、操作後、5秒間放置してください。

車速連動音量(SVC)を設定する

1 B-9手順 **1** にしたがって操作し、SVCモードにする。

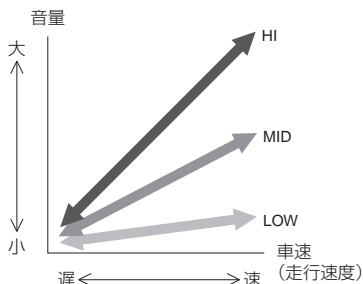
2 PUSHPWR／VOL を右方向／左方向へ回し、変化量を設定する。

：回すたびに下記のように設定が切り替わります。

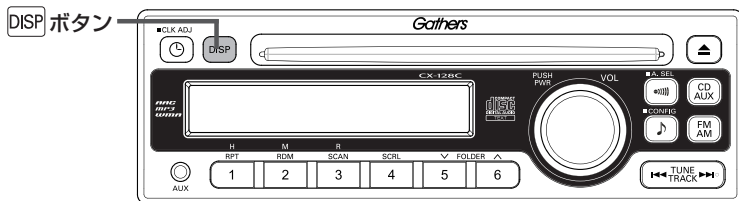
SVC OFF↔SVC LOW↔SVC MID↔SVC HI

※車速(走行速度)に応じて音量変化は

LOW…小さい　MID…HIとLOWの中間　HI…大きい

となります。

- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さくし)ます。
  ※高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。
- 音質／音量バランスの調整を解除する場合は、操作後、5秒間放置してください。

表示を切り替える

CD(MP3／WMA／AAC)モード時に使用します。

1 DISP を押す。

：押すたびに下記表のように表示が切り替わります。

モード	表　　示
CD	→ トラックNo. & 演奏時間 → ディスク名 → トラック名 →
MP3 WMA AAC	→ フォルダNo. & ファイルNo. & 演奏時間 → フォルダ名 → ファイル名 → アーティスト名 → アルバム名 →

※表示できるのはアルファベット・数字のみとなり、ひらがな・漢字は＊表示されます。

手動でスクロールをする

1 4 を押す。

：タイトル表示時のみスクロールします。

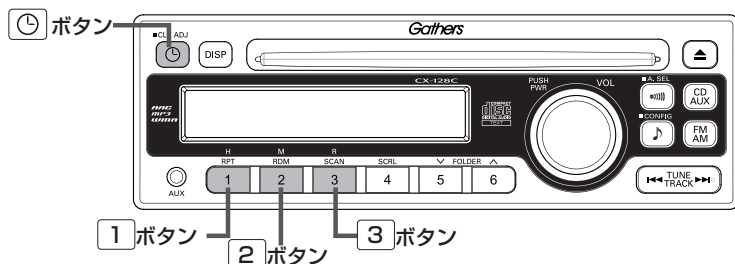
※自動でスクロールさせるには 「各種調整／設定をする」F-2をご覧ください。

時計を調整する

🕒ボタン

1 ボタン

2 ボタン

3 ボタン

1

🕒を長押しする。

：時計表示が点滅し、時計調整モードになります。

■『時』を調整する場合

① 1 を押す。

：押すごとに1時間ずつUPします。また、押し続けると連続してUPします。

■『分』を調整する場合

① 2 を押す。

：押すごとに1分ずつUPします。また、押し続けると連続してUPします。

■『時報合わせ』をする場合

① 3 を押す。

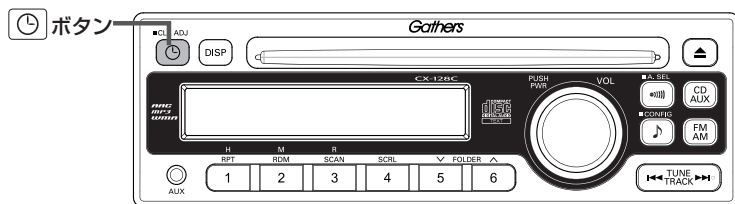
：押すと現在表示されている分表示が30分以内(0～29分)の場合、繰り上げずにリセット(00分表示)されます。30分以上(30～59分)の場合、時表示を繰り上げてリセットされます。リセット(00分表示)後は時計調整モードが解除されます。

例） 7:00～7:29 → 7:00
　　 7:30～7:59 → 8:00

2

調整が終わったら、🕒を押す。

：時計表示が点灯します。

- 時計を調整していないときは、時計表示が点滅します。
- 点検や修理等で車のバッテリーを外した場合は、再度時計調整が必要となります。
- 使用環境により時計の時刻がずれる場合があります。再度時計調整をしてください。
- 時や分を変えるたびに00秒からスタートします。

時計表示を消す

1 **を押す。**

：時計表示を消します。

時計を表示する

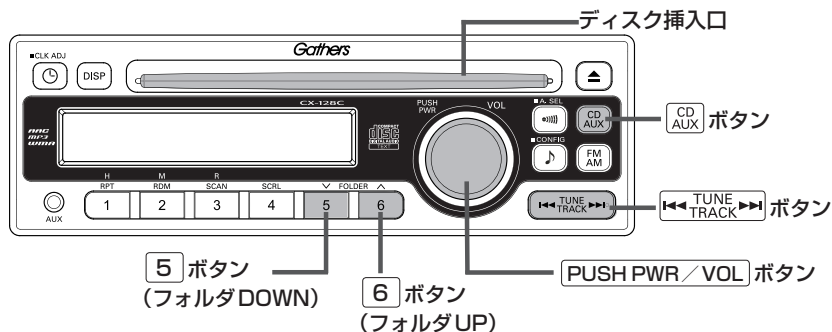
1 **を押す。**

：時計表示を点灯します。

※時計調整モードにするには、☞B-12をご覧ください。

C

CD／MP3／WMA／AAC

音楽を再生する

1 音楽を再生する。

■ その他のモードになっている場合 ※すでにディスク挿入済み

① [CD AUX] を押す。

：CDモードになり、音楽再生を始めます。

■ 前回CDモードで終了(POWER OFF)した場合

① [PUSH PWR／VOL] ／ [CD AUX] を押す。

：前回の続きから、音楽再生を始めます。

アドバイス

１枚のディスクに音楽CDとMP3／WMA／AACのデータが入っている場合は、MP3／WMA／AACデータは再生時間は表示されますが、音楽は再生されません。

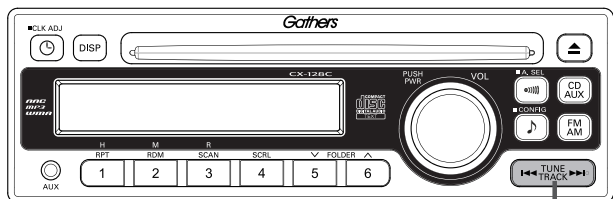
好きなフォルダを選ぶ ※MP3／WMA／AACの場合

1 [5] (フォルダDOWN) [6] (フォルダUP) を押す。

■ 前のフォルダに戻る場合

① [5] (フォルダDOWN) を押す。

■ 次のフォルダに進む場合

① [6] (フォルダUP) を押す。

好きな曲を選ぶ

好きな曲を選ぶ(戻す／進める)

1 **⏮TUNE TRACK⏭を押す。**

：前の曲に戻る、または次の曲に進みます。

■ 前の曲に戻る場合

① **⏮を２回押す。**

※１回押した場合は再生中の曲の頭に戻ります。

■ 次の曲に進む場合

① **⏭を押す。**

早戻し／早送りをする

1 **⏮TUNE TRACK⏭を長押しする。**

：再生中の曲を早戻し／早送りします。

■ 早戻しをする場合

① **⏮を長押しする。**

■ 早送りをする場合

① **⏭を長押しする。**

ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

その他の操作について

■ リピート／ランダム／スキャンをする場合

☞「リピート／ランダム／スキャン再生」B-7

■ 音量を調整する場合

☞「音量を調整する」B-8

■ 表示を切り替える場合

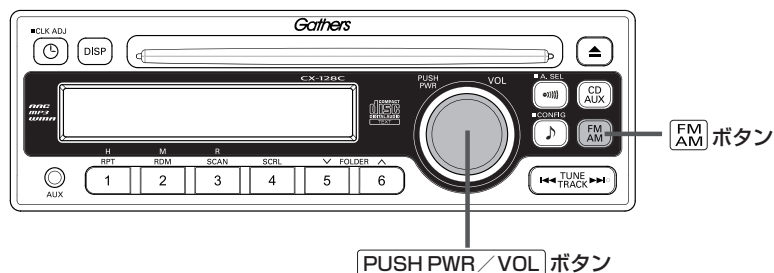
☞「表示を切り替える」B-11

■ AUTO SCROLLさせたい場合

☞「表示の明るさ／オートスクロール／操作音の調整／設定をする」F-2

D

FM／AM(ラジオ)

ラジオを聞く

1 ラジオを聞く。

■ **その他のモードになっている場合**

① FM AM **を押す。**

：ラジオ放送を受信します。

■ **前回ラジオモードで終了(POWER OFF)した場合**

① PUSH PWR／VOL ／ FM AM **を押す。**

：前回の放送局(周波数)のままで、ラジオ放送を受信します。

バンドを切り替える

1 FM AM **を押す。**

：押すたびにFM1／FM2／AMと切り替わります。

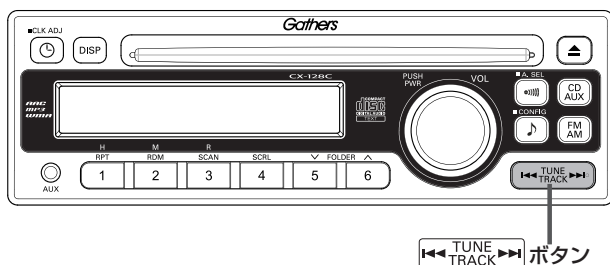
アドバイス

FMステレオ放送受信時は、表示部に“ST”が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)

その他の操作について

■ **音量を調整する場合**

「音量を調整する」B-8

放送局を選ぶ

選局をする

1 **[TUNE TRACK]を押す／長押しする。**

：放送局(周波数)を手動選局／自動選局します。

■ **手動選局する場合**

① **[⏮]／[⏭]を押す。**

：押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。

□ **連続して手動選局するとき**

1. **[⏮]／[⏭]を1.5秒以上長押しする。**

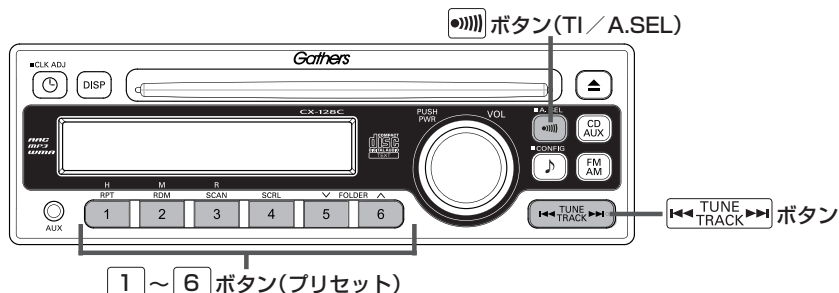
：長押ししている間、連続して放送局(周波数)が変わり、ボタンから手を離したところで止まります。

■ **自動選局する場合**

① **[⏮]／[⏭]を長押しする。**

：自動選局を始め、放送局(周波数)を受信すると自動的に止まります。
※0.5秒以上長押しすると操作音が鳴り、ボタンから手を離すと自動選局を開始します。

プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)とオートセレクトプリセット(自動メモリー)があります。

1 放送局を選ぶ。

「バンドを切り替える」D-2
「放送局を選ぶ」D-3

2 プリセットする方法を選ぶ。(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい放送局(周波数)を 1 ～ 6 (プリセット)にメモリーします。

① TUNE TRACK を押して、メモリーしたい放送局(周波数)を選ぶ。

「放送局を選ぶ」D-3

② メモリーしたいボタン(1 ～ 6)を長押しする。

アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局(周波数)は上書き(消去)されます。
- FM1、FM2、AMにそれぞれ最大6局まで登録できます。
- メモリーした放送局(周波数)を呼び出すには「プリセット(メモリー)した放送局を呼び出す」D-6をご覧ください。

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信状態のよい放送局(周波数)を自動で、 1 ～ 6 (プリセット)にメモリーします。

① (TI／A.SEL)を長押しする。

：表示部に“A.SEL”が点滅し、A.SELサーチをします。サーチ終了後は表示部に“A.SEL”が表示され、メモリーされた放送局(周波数)があると“ch1”の受信となります。

アドバイス

- 自動的に受信状態の良い放送局(周波数)をFM1＆FM2で最大12局、AMで最大6局までメモリーします。

  ※オートセレクトプリセットはFMとAM、別々で設定できます。
- ユーザープリセットとは別にオートセレクトプリセット用としてプリセットされます。
- サーチ開始時は“ピッ”、サーチ終了後は“ピピッ”とお知らせします。
- サーチ終了後に該当するメモリーが6局以下の場合、メモリーされていない 1 ～ 6 (プリセット)を選択すると無音となり、受信周波数表示が“－－－”となります。

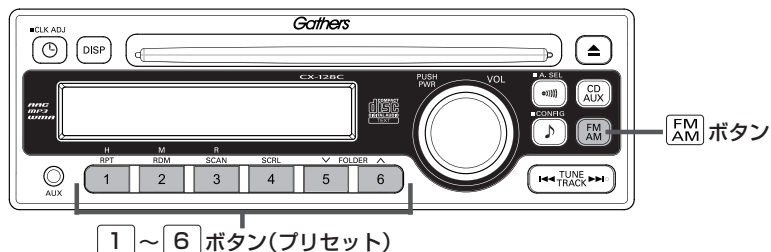
□ オートセレクトを解除するとき

1. (TI／A.SEL)を長押しする。

：表示部の“A.SEL”が消灯し、オートセレクトをする前の放送局(周波数)に戻ります。

アドバイス

オートセレクトを解除すると、オートセレクトプリセット(自動メモリー)された放送局(周波数)は消去されます。

プリセット(メモリー)した放送局を呼び出す

1 呼び出したい放送局のバンドを FM AM を押して選択する。

「バンドを切り替える」D–2

■ ユーザープリセットから放送局を呼び出す場合

※あらかじめ放送局(周波数)をメモリーしておく必要があります。

「放送局を選ぶ」D–3、「プリセット(メモリー)する」D–4

① 呼び出したいボタン(1 ～ 6)を押す。

：メモリーされた放送局(周波数)を受信します。

アドバイス

オートセレクトモードになっている場合は、解除してください。

「□オートセレクトを解除するとき」D–5

■ オートセレクトプリセットから放送局を呼び出す場合

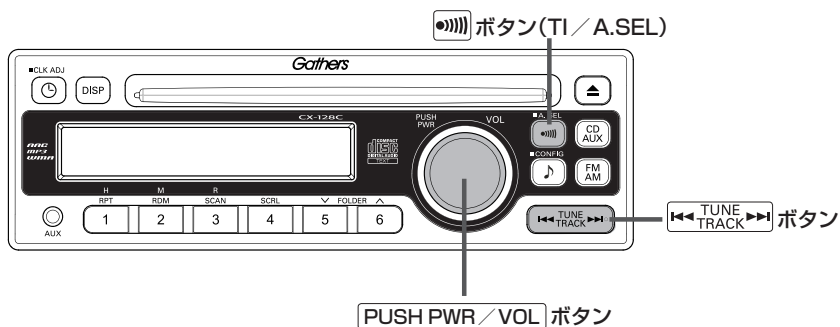
※あらかじめオートセレクトプリセットをしておく必要があります。

「■オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」D–5

① 呼び出したいボタン(1 ～ 6)を押す。

：メモリーされた放送局(周波数)を受信します。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 (TI／A.SEL)を押す。

：AMラジオ局の道路交通情報を受信します。
※初期状態は1620kHzに設定されています。

■ 周波数を変える場合

① TUNE TRACK を押す。

：押すたびに1620kHz↔1629kHzと周波数を切り替えます。

アドバイス
POWER OFFやその他のモードからでも交通情報モードとすることができます。

2 交通情報の受信を解除するには、再度 (TI／A.SEL)を押す。

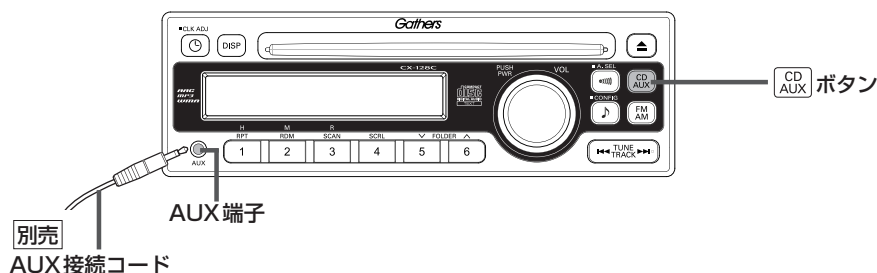
※ PUSH PWR／VOL や他のモードボタンを押しても解除されます。

アドバイス
- 次回 (TI／A.SEL)を押すと、前回選択した周波数の交通情報を受信します。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)にすると交通情報モードは解除されます。

E

AUX

E-2 AUX機能を使う

本機に別売のAUX接続コードを使用して市販のポータブルオーディオ機器などの外部機器の音声を聞くことができます。AUX接続コードはお買い上げの販売店よりお求めください。

※接続の前に、接続する機器の電源を切り、車のエンジンスイッチを0(ロック)にして、本機の電源を切ってください。

1 別売のAUX接続コードを使用して、AUX端子と市販のポータブルオーディオ機器を接続する。

2 車のエンジンスイッチをⅡ(ON)にし、使用する機器の電源を入れる。

3 [CD AUX]を押す。

：AUXモードに切り替わります。

※この時、AUXモードになっていない場合は再度、[CD AUX]を押してください。

4 ポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

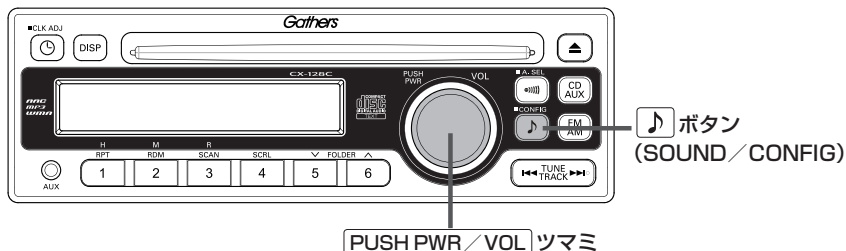
⚠注意 本機をPOWER OFF(☞ B-5)、または車のエンジンスイッチ0(ロック)にする場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

- 接続した機器によっては、音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。（調整してください。）
- AUXモードは音量調整が独立していますので、AUXモード用に音量を調整してください。
- 下記のレベルを超えた機器を接続した場合、音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

入力端子（ステレオミニジャック（3.5φ）×1系統）
音声最大入力レベル　　2.0V（入力インピーダンス22kΩ）

F
その他

各種調整／設定をする

表示の明るさや操作時の確認音などの各種設定をします。

表示の明るさ／オートスクロール／操作音の調整／設定をする

1 ♪ (SOUND／CONFIG) を長押しする。

：CONFIGモードになります。

アドバイス 調整／設定解除するには、以下の方法があります。
- ♪ (SOUND／CONFIG)を1.5秒以上長押しする。
- 5秒間放置する。

2 ♪ を押し、調整／設定したいモードに切り替え、 PUSH PWR／VOL を右方向／左方向へ回し、設定する。

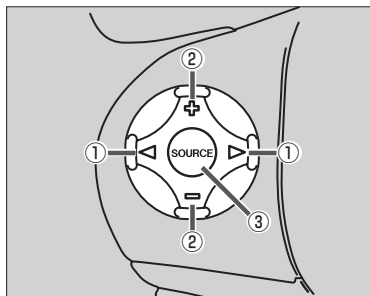
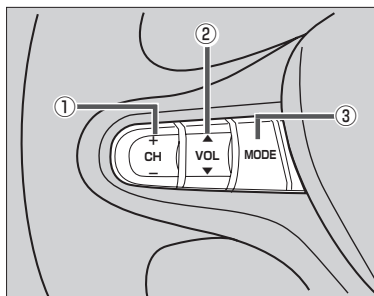
※約5秒たつとCONFIGモードが解除されるので、解除した場合は再度手順 1 の操作を行なってください。

※ボタンをおすごとに下記表のモードに切り替わります。

モード	左方向　右方向	補　足
CONT.	−5 ～ 0 ～ +5	● 本機を見る角度でコントラストを調整します。 ● 表示の見えやすい状態になるように設定してください。
SCRL.	OFF ⟷ ON	● AUTO SCROLL（オートスクロール）の設定をします。 ● タイトル文字数が8文字を超える場合、自動でスクロールします。ただしスクロールするのは1回のみです。 ● 手動でスクロールする場合は 4 を押してください。
BEEP	OFF ⟷ ON	● 操作音の設定をします。

アドバイス POWER OFF時はCONT.の調整しかできません。

オーディオ リモコン スイッチ 車両標準装備 別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。
※スイッチは車種によって異なります。

車種によってはオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。
※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH **スイッチ、** ◁ ／ ▷ **スイッチ**

■ **ラジオを聞いている場合**

＋ 、 ▷ **を押す。**：プリセットされている次の放送局を選局します。
－ 、 ◁ **を押す。**：プリセットされている前の放送局を選局します。
－ ／ ＋ 、 ◁ ／ ▷ **を長く押す。**：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

■ **CD／MP3／WMA／AACを聞いている場合**

＋ 、 ▷ **を押す。**　　：スキップ(次の曲の頭出し)します。
＋ 、 ▷ **を長く押す。**：次のフォルダに進みます。　※CDは無効。
－ 、 ◁ **を押す。**　　：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
－ 、 ◁ **を長く押す。**：前のフォルダに戻ります。　※CDは無効。

② VOL **スイッチ、** ＋ ／ － **スイッチ**

▲ 、 ＋ **を押す。**　　：音量が大きくなります。
▲ 、 ＋ **を長く押す。**：連続して音量が大きくなります。
▼ 、 － **を押す。**　　：音量が小さくなります。
▼ 、 － **を長く押す。**：連続して音量が小さくなります。

③ MODE **スイッチ、** SOURCE **スイッチ**

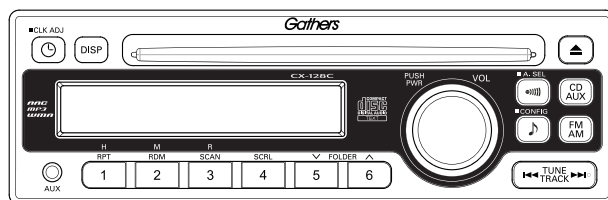
スイッチを押すたびに、下記のようにモードが切り替わります。

→FM1 → FM2 → AM → CD＊→ AUX ─┘

アドバイス

＊印…ディスクが未挿入の場合は、CDモードをとばして次のモード(AUXモード)になります。AUXの接続方法につきましては、「AUX機能を使う」E-2をご覧ください。

● オーディオリモコンスイッチはPOWER OFFのときは操作できません。

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタンの文字(CD、AUX、FM、AM、1、2、3、4、5、6、DISP)、イラスト(•))))、 ◷ 、 ⏮TUNE TRACK⏭、 ♪ 、 ⏏)、PUSH PWR／VOL ツマミの周囲、ディスク挿入口の左右が点灯します。

メッセージ表示について

本機を操作中、次のようなメッセージが出ることがあります。下記にしたがって処置してください。

表　示	モード	原　因	処　置
NO　TITLE	CD MP3 WMA AAC	曲名等のタイトルが記録されていません。	タイトルを記録したディスクを入れてください。
DISC　ERROR	CD	ディスクを裏返しに入れている。	ディスクを正しくセットしてください。
		挿入したディスクが汚れている。	ディスクの汚れをふき取ってください。
MECH.ERROR	CD	本機のCDドライブに異常があります。	EJECTを押してください。または、少しでもディスクが出ている場合は手で引き出してください。
READ　ERROR	MP3 WMA AAC	何らかの理由で再生しようとしているファイルを読み込むことができません。	ディスクの汚れをふき取り、再度ディスクを入れてください。それでもエラー表示が出る場合は別のディスクを入れて確認してください。
UN-SUPPORT	CD MP3 WMA AAC	再生できないディスクやデータです。	本機で再生できるディスクやファイルデータを選択してください。
COPY　PROTECT	MP3 WMA AAC	コピープロテクトされているファイルです。	再生可能なファイルをデータを選択してください。

F-6 故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや配線不完全などで故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	電源コードの接続が不完全。	販売店にお問い合わせください。
音が出ない。	スピーカーコードの接続が不完全。	販売店にお問い合わせください。
	VOL［ボリューム］（音量）が小さい。	VOL［ボリューム］（音量）を大きくしてください。
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。
ディスクを入れても出てきてしまう。	ディスクがひどく汚れている。	ディスクのクリーニングをしてください。
	周囲の温度が極度に高い。	車内の温度を下げてから使用してください。
	結露している。	しばらく放置してから使用してください。
	ディスクが反っている。	反ったディスクは使用しないでください。
音が飛ぶ。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスク不良の可能性があります。
	ディスクが汚れている。	ディスクのクリーニングをしてください。
音質が悪い。（音が歪む。）	VOL［ボリューム］（音量）が大きすぎる。	適正音量でお聞きください。
CDモードに切り替わらない。	ディスクが挿入されていません。	ディスクを挿入してください。
ディスクの再生に時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ／ファイル／階層が多い。	最初にメディア内の全てのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると再生されるまでに時間がかかります。
ラジオが受信できない。	アンテナの接続が不完全。	アンテナの接続を確認してください。
自動選局できない。	電波が弱い。	手動選局してください。

症　状	原　因	処　置
右のスピーカーまたは左のスピーカーから音がでない。	BALANCE(バランス)のレベルが片方によっている。	BALANCE(バランス)のレベルを調整してください。
AUXのVOL(ボリューム)(音量)が小さい。	抵抗入りのケーブルを使用している。	抵抗が入っていないケーブルを使用してください。
	AUXモードのVOL(ボリューム)(音量)を小さくしている。	音量を調整してください。
	AUX端子に接続した機器の音量が小さくなっている。	接続した機器の音量を調整してください。
前のスピーカーまたは後ろのスピーカーから音がでない。	FADER(フェダー)のレベルが片方によっている。	FADER(フェダー)のレベルを調整してください。
音量が勝手に大きくなる／小さくなる。	車速連動音量(SVC)設定がHI／MID／LOWになっている。	車速連動音量(SVC)設定をOFFにしてください。

主な仕様

CD部

周波数特性 10～20,000Hz
S／N比 80dB以上
高調波ひずみ率
0.03%以下
ダイナミック・レンジ
92dB以上
ピックアップ
3ビームホログラムピックアップ
デジタルフィルター
8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター
D／Aコンバータ
1ビットDAC
（3次⊿Σノイズシェーパ方式）
ワウ・フラッター
測定限界以下

ラジオ・チューナー部

受信周波数	FM 76.0～90.0MHz （step：100kHz） AM 522～1629kHz （step：9kHz）
実用感度	FM 5dB μ AM 26dB μ
S／N比	FM 60dB以上 AM 60dB
高調波ひずみ率	FM 0.15% AM 0.30%
周波数特性	FM 20～15,000Hz

AUX入力

周波数特性 20Hz～20kHz
最大入力電圧 2Vrms
入力インピーダンス
22 k Ω

オーディオ部

最大出力	40W × 4 （15.2V）
定格出力	20W × 4 （4 Ω，1 k Hz，10% THD）

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
ラジオ入力端子	GT13専用コネクター
ラジオ入力端子	CE2専用コネクター
AUX端子	3.5 φステレオミニジャック

その他

電源電圧	DC12V
最大消費電流	11.5A
外形寸法	約191×61.5×167.5mm （幅×高さ×奥行き）
質量（本体のみ）	約1230g

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 調子が悪いとき………………まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき……保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理……………保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理………修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品………………製造打ち切り後、最低６年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

G
索　引

索　引

数字・アルファベット

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ラ

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間:**9時～12時、13時～17時**／

但し、土日・祝祭日、弊社指定休日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社
〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

Printed in Malaysia

PART NO. 08A02-8P0-1001-80
PART NO. 2RR6P10B01600